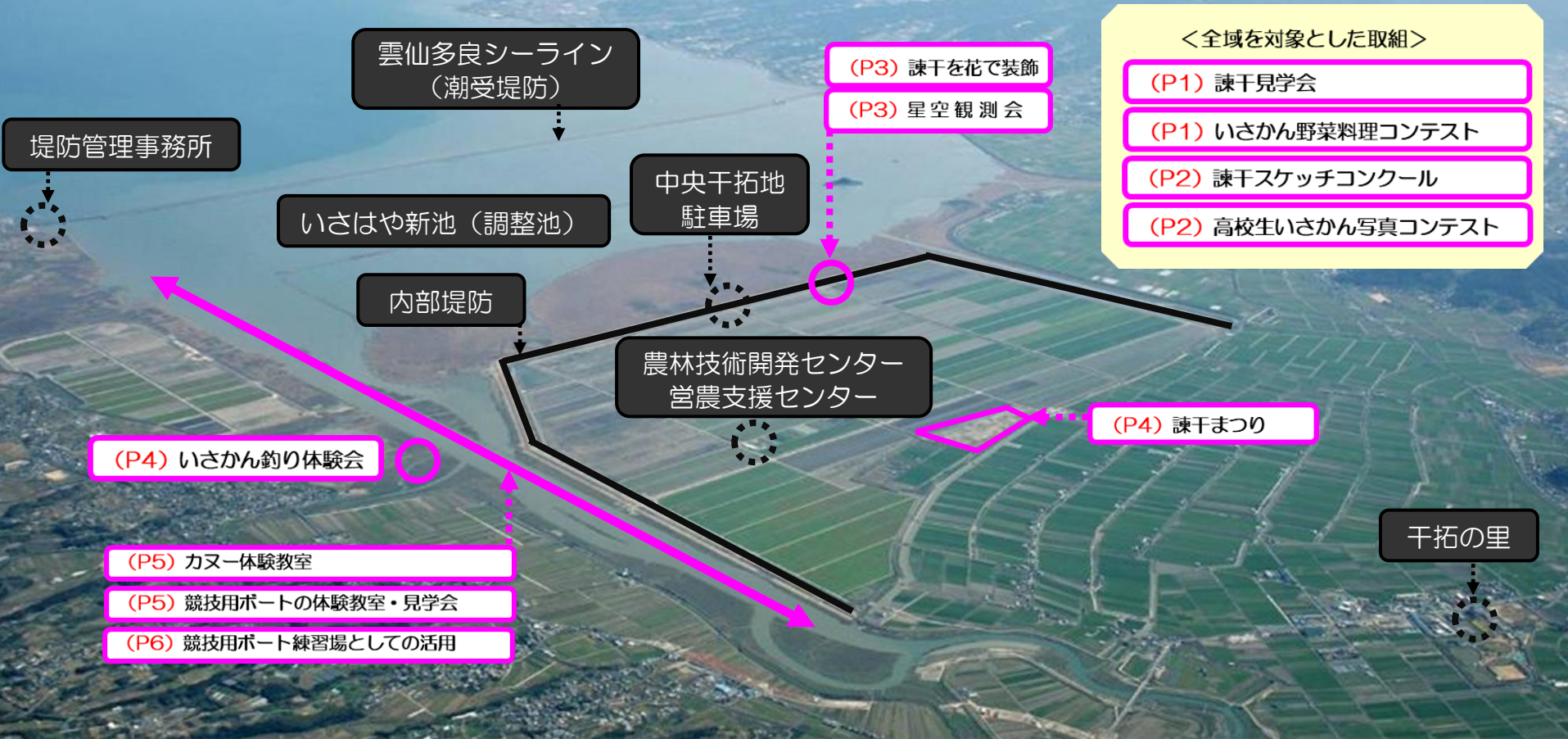


# 平成28年度～令和3年度「いさかん」魅力発見！プロジェクト(取組実績)

## 【プロジェクトの目的】

諫早湾干拓事業によってもたらされた豊かな自然や大地の恵み、安全安心な暮らしをPRするとともに、中央干拓をはじめ、調整池、干陸地などの地域資源に親しむ機会を創出するため、県央振興局と諫早市、各種団体が協同で様々な取組を実施



諫早湾干拓にぎわい創出協議会

# 諫干見学会（H28～）

## 【内容】

諫早湾干拓が果たしている役割を正しく知ってもらうため、「歴史」、「防災・環境」、「農業」という3つのテーマを設け、干拓地内の見学会を実施

## 【対象】

- ・地域住民（学童保育、小学生社会科見学、老人クラブ等）

## 【コース例】

- ・干拓資料館、庄屋屋敷、むつごろう水族館、内部堤防
- ・堤防管理事務所、堤防道路、内部堤防、本明川ボート練習場

## 【実施回数・参加者数】

令和3年度（1回、40名）  
 令和2年度（1回、27名）  
 令和元年度（4回、111名）  
 平成30年度（7回、348名）  
 平成29年度（9回、444名）  
 平成28年度（6回、372名）

※令和2～3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一般公募により11月に開催



本明川ボート練習場



内部堤防



堤防道路



干拓の里資料館



堤防管理事務所

【P1】

# いさかん野菜料理コンテスト（H30～）

## 【内容】

干拓農地で取り組まれている環境保全型農業をPRするため、干拓地で収穫された野菜を使った料理コンテストを開催

## 【対象】

- ・地元高校生

## 【募集内容】

レタス、キャベツ、にんじん、ブロッコリー、はくさい、ほうれんそう、ミニトマト、トマト、小松菜、きゅうり等のいずれかをメインとした料理・スイーツのレシピ

## 【応募結果】

- ・令和3年度（料理部門 62点 / スイーツ部門 50点）
- ・令和2年度（料理部門107点 / スイーツ部門 50点）
- ・令和元年度（料理部門 74点 / スイーツ部門 39点）
- ・平成30年度（料理部門106点 / スイーツ部門 53点）

※各部門から6点を書面選考（1次審査）し、2次審査（調理審査）で入賞作品を選出。1次審査通過作品はレシピをホームページで公開し、レシピカードを製作してイベント等で配布

※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大のため2次審査も書面で実施

## 【作品例】

### 《料理部門》



### 《スイーツ部門》



## 【2次審査（調理審査）の会場写真】



## 諫早スケッチコンクール（H29～H30）

### 【内容】

諫早湾干拓事業によってもたらされた景観やイベントなど「いさかん」の魅力が伝わるスケッチを募集

テーマ：わたしが見た「いさかん（諫早湾干拓地）」の風景

### 【対象】

諫早市内の小学校に通う児童

### 【応募作品】

平成30年度：6作品

※応募作品が少なかったため、審査は行わず応募者に記念品を送付し、諫早まつりで展示

平成29年度：31作品

### 【作品の例】



【P2】

## 高校生いさかん写真コンテスト（H29～）

### 【内容】

諫早湾干拓事業によってもたらされた景観や農園風景など、「干拓地を訪れたくなるような魅力的な写真」を募集

### 【対象】

・県内（離島除く）の高校の写真部員

### 【応募作品】

令和3年度：27作品      平成30年度：52作品

令和2年度：34作品      平成29年度：130作品（2回開催）

令和元年度：44作品

### 【各年度の最優秀賞作品】

（H30年度）



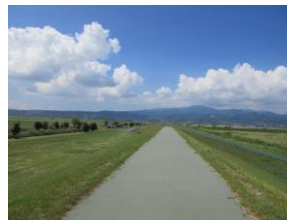
（H29年度①）



（H29年度②）



※諫早まつり会場、諫早駅、  
諫早図書館等にて、  
各入賞作品を展示



（R1年度）



（R2年度）



（R3年度）

## 諫干を花で装飾（H28～）

### 【内容】

ウォーキング等で干拓地を訪れる人に花の景観を楽しんでもらうため、内部堤防の法面に花（クリムソクローバー）を植栽

### 【開花時期】

4月上旬～5月上旬（気候等で開花時期が変わるため、詳細は県央振興局HPで周知）

| 年度    | 播種期間          | 場所・面積                                      | 面積      |
|-------|---------------|--|---------|
| R3年度  | 11月           | 前面堤防 1.6km<br>前面堤防平地部 1.2km                | 36,800㎡ |
| R2年度  | 10月           | 前面堤防 1.6km<br>前面堤防平地部 1.2km                | 36,800㎡ |
| R元年度  | 10～12月        | 前面堤防 1.6km<br>前面堤防平地部 1.2km                | 36,800㎡ |
| H30年度 | 10～11月        | 前面堤防 1.6km<br>前面堤防平地部 1.2km                | 55,200㎡ |
| H29年度 | 10～12月、<br>3月 | 前面堤防 1.4km<br>南側堤防 1.8km<br>北側堤防（試験） 0.2km | 40,800㎡ |
| H28年度 | 11～12月、<br>3月 | 前面堤防 2.5km<br>前面堤防平地部 1.0km                | 34,000㎡ |



【P3】

## 星空観測会（R1～）

### 【内容】

中央干拓（内部堤防）の住宅地等の灯りから離れ、また夜間の通行車両も僅かという天体観測に適した環境を活かし、星空観測会を実施

### ■令和2～3年度

新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

### ■令和元年度

- 日時：R2.2.22（土）19時～20時30分
- 場所：中央干拓地広場
- 参加者数：39名
- 実施内容
  - ・専門家による冬の星空説明
  - ・こたつに入っでの星空観測
  - ・前面堤防や木道のライティング



# いさかん釣り体験会 (R1~)

## 【内容】

本明川下流及び調整池等の水辺に親しんでもらい、賑わいを創出するため、釣り竿をレンタルできる釣り体験会を開催

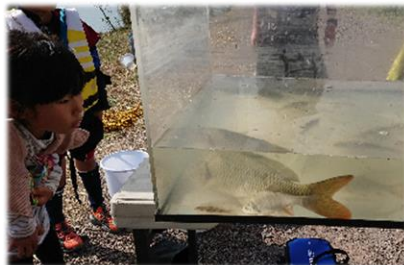
## 【場所】

深海地区干陸地

【釣果】 ナマズ、オイカワ、ヌマチチブ、クチボソ、カメ、スッポン、テナガエビ、ヌマエビ、モツゴ、フナ等

## 【日時・参加者】

- 令和3年度 11.6 (土)、参加者8名【雨で途中で中止】
- 令和2年度 10.25 (日)、参加者305名  
※令和2~3年度はコスモス祭りが新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となったため単独で開催
- 令和元年度 10.27 (日)、参加者116名  
※コスモス祭りの一部として開催



【P4】

# 諫干まつり (H28~)

## 【内容】

諫早湾干拓事業によって創出された干拓農地では、大規模で環境に配慮した農業が営まれている。

また、農地の先の自然干陸地では、野鳥が多く生息し豊かな自然環境が形成されている。

干拓地を知ってもらい、新たな憩いの場として親しんでもらうために、干拓農地において諫干まつりを開催

## 【まつりのイベント例】

もちまき



野菜直売



長崎和牛の試食



いさかん抽選会



伝統芸能



播種体験



## 【参加者数】

- 令和3年度 来場者数 約900名 (感染対策を講じたうえで、一部のイベントに限定して開催)
- 令和2年度 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
- 令和元年度 来場者数 約4,200名
- 平成29年度 来場者数 約3,000名
- 平成28年度 来場者数 約2,500名

## カヌー体験教室（H28～H30）

### 【内容】

諫早湾干拓地周辺の広大な水辺空間と豊かな自然を体感するため、諫早湾干拓調整池に注ぐ河川等において、長崎県カヌー協会の協力のもと、カヌー体験教室を実施

### 【場所】

本明川下流域（天狗鼻など）

### 【実施回数・参加者数】

- 平成30年度 1回、40名
- 平成29年度 1回、18名  
※悪天候で2回中止
- 平成28年度 2回、34名  
※平成28年度のうち1回はコスモスまつりのなかで小江川で開催



## 競技用ボート体験教室・見学会（H30～）

### 【内容】

本明川下流域の豊かな自然と水辺に親しんでもらい、また、ボート競技への理解と地元における認知度を高めるため、地元の人を対象とした体験教室・見学会を開催

- 令和3年度本明川ボート・カヌー・SUP体験会  
■参加者 152名  
■100年以上の歴史を誇る早稲田大学と慶應義塾大学の両ボート部による対抗戦「早慶レガッタ」を開催
- 令和2年度本明川ボート・カヌー・SUP体験会  
■参加者 109名  
R2～  
本明川スポーツフェスタ内で実施
- 令和元年度 日本ボート協会強化合宿見学会 in 本明川  
※日本ボート協会強化合宿にあわせて見学会を実施  
■参加者 約80名 ボート上から見学：45名  
■日本及び長崎県ボート協会コーチによる解説有
- 平成30年度 競技用ボート体験教室  
■参加者：22名（小学生以上）  
■指導者：県ボート協会  
R1～  
見学会参加に  
幻の高来そば  
のふるまい有

ボート



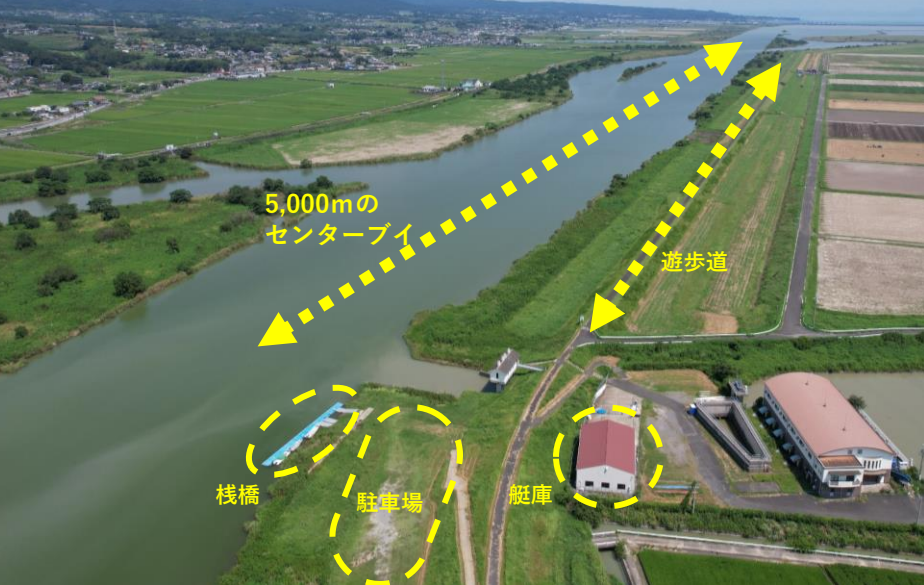
SUP



カヌー



# 競技用ボート練習場としての活用



## 【内容】

県ボート競技のレベルアップを図るとともに、周辺地域へのにぎわいを創出するため、穏やかな流れと長い直線距離を有する本明川を競技用ボート練習場として活用する民間団体の取組を支援

## 施設紹介

平成28年12月に諫早本明川艇庫が完成し、平成30年3月には常設栈橋の供用が開始されました。

コースブイは仮設のブイを使用していましたが、令和3年3月に5,000mの常設センターブイが完成するなど、練習環境の整備が進んでいます。

### 〈艇庫(外観)〉

木造1階立て  
床面積 246.9㎡

### 〈艇庫(内部)〉

収納艇数：48艇  
シャワー、トイレ、ミーティングルーム有

### 〈栈橋〉

通常、2m×2mの  
栈橋を16基設置



- ☑コースに平行した遊歩道もあり、選手の漕ぎを確認できます。
- ☑市街地から比較的近く（諫早駅から車で約20分、長崎空港から車で約50分）、宿泊施設からの移動時間が少なく済みます。

### 〈地元団体〉

長崎県内唯一の実業団チーム「チョープロ・ローイングクラブ」や県内高校のボート部が練習に使用しており、素晴らしい成績をあげられています。



## 本明川ボート練習場の特徴

ほんみょうがわ

諫早市を流れる一級河川「本明川」。下流域には国営諫早湾干拓事業によって創出された、穏やかで長大な直線水域があり、ボート競技の練習場として国内でも屈指の好環境を誇ります。

そのため、日本代表候補チーム、国内の実業団チームや大学チーム等が合宿に訪れるなど、ボート関係者を中心に認知度が上がっています。

特徴①  
直線  
5,000m

- 👍 5,000mの直線距離を確保できる
- 👍 障害物がなく「漕ぎこみ」等の練習に最適な環境

特徴②  
十分な川幅

- 👍 8コース相当の川幅がある
- 👍 他の水面利用者が少ない
- 👍 合同合宿でも余裕を持った練習が可能

特徴③  
穏やかな淡水水域

- 👍 自然護岸の淡水水域
- 👍 波や風の影響を受けにくい
- 👍 冬季も水面が安定しており年間を通して好条件の練習環境

## 合宿状況

日本代表候補チームは、本明川ボート水域において3期連続で強化合宿を実施。

その他、国内の実業団チームや大学チーム等が合宿に訪れ、水域の長い直線距離を活かした「漕ぎ込み」を中心に充実したトレーニングを行っています。

| ボート競技合宿実績（全体） |               |
|---------------|---------------|
| H30           | 10回（宿泊者数86人）  |
| R1            | 16回（ // 137人） |
| R2            | 7回（ // 143人）  |
| R3            | 7回（ // 102人）  |

| 主な団体             | 合宿月                | 主な団体         | 合宿月               |
|------------------|--------------------|--------------|-------------------|
| 早稲田大学・慶応義塾大学ボート部 | R3年11月             | 今治造船ボート部     | H30年10月           |
| 日本代表候補チーム        | H31年2月<br>R2年2・12月 | デンソーボート部     | R1年5月             |
| 関西電力男子漕艇部        | H29年8月<br>H30年8月   | 東レ滋賀ボート部     | R1年9月             |
| 富山国際大学ボート部       | H30年2月<br>R2年2月    | JOCエリートアカデミー | R2年12月<br>R3年3・8月 |

他 多数